

# 令和4年度 第2回大阪府医師会 JMAT 研修基本編 実施要領

目的：災害医療体制確保充実事業の一環として、JMAT（日本医師会災害医療チーム）に関する研修を行うことにより、災害時、被災地内外から派遣される JMAT として、一体的、組織的な医療支援活動の充実に資することを目的に開催する

日時：令和5年3月12日(日) 9:00～17:30 集合形式で開催、事前学習あり

会場：大阪府医師会館 4階A・B会議室

主催：大阪府医師会（大阪府委託・災害医療体制確保充実事業）

対象：大阪府内の郡市区等医師会役員および災害医療に係る医師会員

JMAT の一員（予定）等-特に医師、看護職員やその他の医療従事者等

※1:応募者は新型コロナワクチン接種3回済みの方に限る

※2:定員24名(受講の可否は、後日連絡)

参加費：無料

その他：①スマートフォンまたはタブレットを利用して実習（端末及び回線は参加者自身でご用意）

②参加者は、eラーニングシステムによる事前学習が必要

③日本専門医機構認定共通講習【専門医共通講習-災害医療：1単位】

申込み：グーグルフォームにより、2月10日（火）までにお申込み

（申込み URL：<https://forms.gle/7CHadmD4QPd5ek4A9>）



(申込み QR コード)

## 事前学習（講義・確認テスト）

日医 JMAT 研修 e ラーニングシステム “JMAT-e” による事前学習

## 実地開催（講義・実習）

1. 災害医療概論 大阪急性期・総合医療センター 藤見 聡
2. JMAT 総論 大阪府医師会 鋸方 安行  
医師会と災害医療  
災害対策本部（中央、圏域、地区）  
大災害時の患者像（過去の実例）  
JMAT とは（災対本部図解、理念・役割、基本方針）  
JMAT 派遣の段取り（要請なき JMAT、構成、資器材）  
被災地 JMAT の動き（地域防災計画、受援）  
支援 JMAT の動き（被災地コーディネート機能）
3. CSCA（TTT） 大阪急性期・総合医療センター 仲榎 哲
4. 被災地 JMAT の活動 大阪急性期・総合医療センター 仲榎 哲
5. 情報の共有、クロノロジーの重要性 大阪急性期・総合医療センター 西 健太
6. 災害時の通信について 大阪急性期・総合医療センター 西 健太
7. TTT の概念 大阪急性期・総合医療センター 藤見 聡
8. トリアージ実習、病院と医療救護所の関係、重症患者のフロー 大阪急性期・総合医療センター 藤見 聡
9. 受援（被災地受援を考える） 厚生労働省 DMAT 事務局 松田 宏樹
10. JSPEED 実習、情報の発信：JMAT 活動報告、被災地からの各種情報提供 広島大学大学院医系科学研究科 久保 達彦/ 田治 明宏
11. 支援 JMAT～被災地における医療支援 厚生労働省 DMAT 事務局 松田 宏樹  
(1) 発災から JMAT 派遣決定、現地到着まで  
(2) 派遣先被災地での活動（ニーズ、医療支援）  
(3) 避難所などでの多様な活動・引き継ぎ、撤収
12. ターニケット装着実習、救急蘇生など 大阪急性期・総合医療センター 藤見 聡
13. 災害非常食について